

Japanese man In NY (ニューヨーク生活)

《 Root Beer 》



Photo: Root Beer

であるサルサパリラの根、ナツメグ、アニス、糖蜜などがブレンドされて作られており、アメリカでは「MUG」「DAD'S」「A&W」「Hires」等が知られているが、その他にも「IBC」「Iris」「Shasta」といった銘柄が存在する。味は銘柄によって異なり、コカ・コーラとペプシ・コーラの違いをイメージしてもらえば分かるだろうが、ルートビアの味自体はドクターペッパーにも似ているかもしれない。嘗て日本でも米軍基地がある土地柄だろう、「沖縄バヤリース」からルートビアが販売されていたそうで、中国でも「亜洲」「沙示」等の銘柄が存在するようだ。

ニューヨークで生活していた頃は、炭酸飲料を飲むならルートビアを手に取り、銘柄の中でもブルドックのキャラクターで知られる「MUG」、青赤黄のいかにもアメリカっぽい派手なデザインの「DAD'S」が好みだったが、それ程強いこだわりはなく、その時々で他の銘柄も口にしていた。ルートビアとの出会いは幼稚園時代に遡る。国際結婚をしていた叔母一家が当時、東京・福生の横田基地の中で暮らしていたため、年に一度くらいは横田基地を訪れていた。親族だったため、基地の中に入れた訳だが、それが特別なことだと分かったのは随分と成長してからだった。

当時、基地内の綺麗に刈られた緑の芝が広がる住宅街に佇んでいた叔父、叔母の家の巨大な冷蔵の中でキンキンに冷やされていたルートビアを飲ませてもらったのだろう。自分にとっては正にアメリカの味、今でも時々ルートビアを飲むと横田基地での思い出やニューヨークで暮らしていた当手を思い出す。今でも沖縄や小笠原諸島ではよく飲まれるそうだが、それ以外の地域では一部の酒店や輸入食品店等で購入できる程度で、“飲むサロンパス”等と呼ばれてしまうことがあるように、基本的に日本人の口には合わない飲み物のようだ。

ニューヨークではデリと呼ばれるスーパーでも普通に売られており、ポピュラーな飲み物だが、マクドナルドやバーガーキング等のドリンク・メニューには加えられてなかった。あの強烈な甘さとインパクトのある味から健康な飲み物ではないのだろうが、あの味は自分にとっては特別。今でも夏になると思い出すことがある…。部屋の電圧の関係で真夏でもエアコンを設置出来なかったマンハッタンでのアパート生活において、猛暑時には扇風機の風を片時も体から離せない時が多々あったが、そんな中で小さな冷蔵で冷やされたルートビアの味は格別だった。